

6. 火器の使用

火器の使用

- ・有料レンタル器材とカセットコンロ以外の火器の使用を原則禁止します。
- ・有料レンタル器材の貸出および返却については p.31 「調理器材有料レンタル・氷購入、木材購入」を参照してください。

注意事項

- ・火災発生時の対処法は p.39 「緊急時の対応」を参照してください。
- ・火器と来場者との距離を十分にとり、来場者に油がはねたり熱した鉄板が通路に出たりしないようにしてください。
- ・机の上に直接火器を置いて使用しないでください。
- ・耐熱ボードの使用の有無に関わらず、地面に火器を置いて使用しないでください。
- ・引き出しのある器具（焼き鳥器、クレープ焼き器およびセイロ）には水を入れて使用してください。
- ・コンロの風除けに、燃えやすいもの（布、木材、段ボールなど）を使用しないでください。
- ・着火の際は、炎をしっかりと見て、炎が青色であることと安定した音を出していることを確認してください。赤い炎は不完全燃焼の状態であり「ポオオッ」という音がする場合は空気過剰の状態です。
- ・炎を消すときは、必ずガス器具の元栓を閉め、炎が完全に消えたことを目で確かめてください。
- ・油から発火した際は、素早く消火クロスをかぶせてください。爆発する危険性があるので、水は絶対に使用しないでください。

防火対策

消火クロス

- ・火器を使用するすべての室外企画は、火災対策のため、企画実施場所に必ず消火クロス（p.29『無料レンタル』参照）を用意してください。用意せずに企画を実施した際は、企画が中止となる場合があります。
- ・破損や汚れ防止のため、緊急時以外は袋から取り出さないでください。
- ・火災が発生した際は、必ず当委員会に連絡してください。

- ・使用手順は以下の通りです。
- ①袋の下をあげ、消火クロスを取り出してください。



- ②消火クロスを両手でなるべく体から離して持ってください。



- ③コンロの火を止め、燃えている鍋や鉄板の上に消火クロスを被せてください。消火クロスを被せたまま、10分以上放置してください。



耐熱ボード

- ・火器を使用する際は、耐熱ボード（p.29『無料レンタル』参照）を使用してください。

◆耐熱ボードの使い方

机などの調理台の上に耐熱ボードを敷き、その上で火器を使用してください。



大型ガスボンベの使用

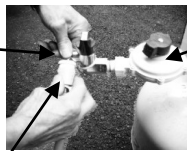
ガスのごム管の接続・使用

- ・ゴム管を接続する際は、目の届かないところを通したり折り曲げたりしないでください。また、机の脚などでゴム管を踏まないよう注意してください。
- ・ゴム管の三又は危険なので行わないでください。
- ・ガス燃焼器具にゴム管が触れないようにしてください。
- ・調整器プラグのキャップは使用する時以外は必ずはめてください。
- ・ゴム管コンセント継手は、調整器が動かないよう手で支えながら調整器プラグに差し込み「カチッ」と音がすることを確認してください。



ゴム管の三又

調整器
プラグ



調整器

ゴム管コンセント継手

設置

- ・大型ガスボンベは倒れないように平らな場所に設置してください。また、火器から離れた場所に設置してください。
- ・振動で接続が緩むのを防ぐため、衝撃を与えないようにし、運搬の際は台車を使用しないでください。
- ・調整器は外さないでください。また、調整器の接続部分はもろいため、物をぶつけたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ・二口調整器を使用する際は、使用するガスコックのみを開いてください。
- ・調整器のコックは寒い日などに、安全装置が働いてガスが出ない場合があります。その際は一度コックを閉じて、再度コックを開いてください。
- ・火が消えた場合は、ガス漏れを防ぐためにガスボンベの元栓を閉めてください。
- ・使用後はガスボンベの元栓が完全に閉まっていることを確認してください。
- ・ガスは空気より重いので物陰や低い場所にたまります。ガス漏れした場合、下方の風通しを良くし、ほうきなどで掃いてガスを追い出してください。
- ・設備不良の場合は、当委員会に連絡してください。

大型ガスボンベ



管理

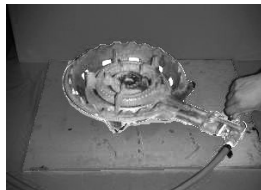
- ・ガスボンベを使用する際、安全弁がついているか確認してください。
- ・ガスボンベは絶対に室内で保管しないでください。
- ・ガスボンベは企画実施場所に放置せず、毎日P1ライトコート（p.45『構内図』参照）に戻してください。その際に元栓が閉まっていることを確認してください。

使用手順

- ①ゴム管をさす調整器プラグのキャップを外し、ゴム管のコンセント継手を調整器のプラグにさして「カチッ」と音がすることを確認します。



- ②ガス器具の元栓が閉まっていることを確認します。



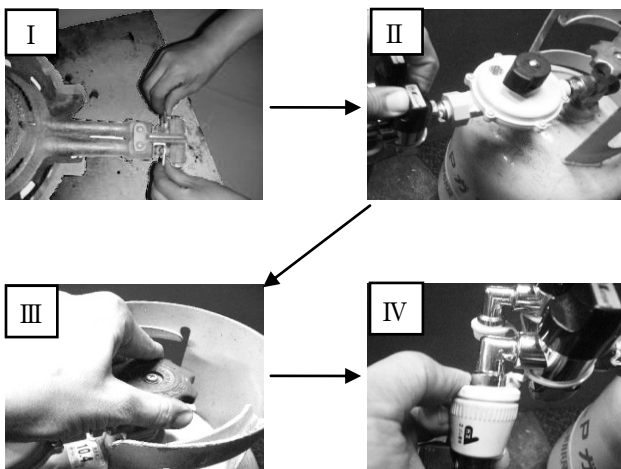
- ③ガスボンベの元栓を反時計回りに少しまわし、開栓します。全開にしても、調整器で調整しているためガスが出る量は増えません。
次にゴム管がない調整器のコックもひねってください。



- ④ガス器具のバーナー部分にチャッカマンの火種をおいてから、コックをひねります。1カ所ずつ点火してください。
チャッカマンは各団体で用意してください。なお、危険ですので、ライターは使用しないでください。



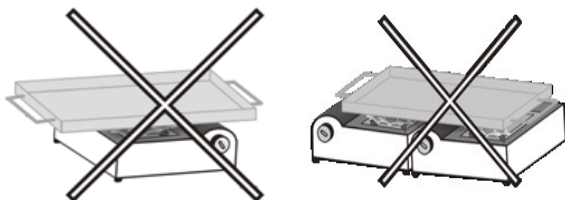
- ⑤使用後は、消火を確実にし、ガス器具の元栓、調整器のコック、容器バルブを完全に閉めて、ゴム管のコンセント継手を外してください。



カセットコンロの使用

使用規定

- カセットコンロを使用する際は以下の項目を禁止します。
 - ①明らかに老朽化の激しいカセットコンロの使用
 - ②カセットコンロの大きさを超える鉄板や鍋など(四角い鉄板: 一辺 25cm 以上、丸い鍋: 直径 30cm 以上) の使用
 - ③カセットコンロを 2 つ以上並べての使用



注意事項

- カセットボンベはカセットコンロに指定されているボンベを使用してください。また、カセットコンロやカセットボンベに表示されている通りに正しく設置してください。
- カセットボンベは使用時以外、必ず火器から外して保管し、屋外には放置しないでください。
- カセットボンベは P 1 ライトコートで保管する必要はありません。各団体に保管してください。

カセットボンベ

